

ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型)

米ドルコース

日本円コース

通貨αコース

運用報告書 (全体版)

第101期 (決算日 2023年5月22日)

第102期 (決算日 2023年6月20日)

第103期 (決算日 2023年7月20日)

第104期 (決算日 2023年8月21日)

第105期 (決算日 2023年9月20日)

第106期 (決算日 2023年10月20日)

(作成対象期間 2023年4月21日～2023年10月20日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産	
信託期間	2014年10月21日～2024年10月18日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	米ドルコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド (ノンヘッジクラス)」の受益証券 (円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	日本円コース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド (円ヘッジクラス)」の受益証券 (円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨αコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド (通貨αクラス)」の受益証券 (円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、エネルギーや天然資源等に関連する米国のMLP (マスター・リミテッド・パートナーシップ) 等へ投資し、信託財産の成長をめざしております (通貨αコースでは、通貨カバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保もめざしております)。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先 (コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日の9:00～17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5643>

<5644>

<5645>

米ドルコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			アレリアンMLP指数 (配当込み、円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
77期末(2021年5月20日)	3,568	30	9.6	6,517	11.2	—	98.9	1,353
78期末(2021年6月21日)	3,716	30	5.0	6,959	6.8	—	97.9	1,399
79期末(2021年7月20日)	3,384	30	△ 8.1	6,200	△ 10.9	—	97.8	1,268
80期末(2021年8月20日)	3,347	30	△ 0.2	6,147	△ 0.9	—	98.0	1,195
81期末(2021年9月21日)	3,458	30	4.2	6,200	0.9	—	98.1	1,224
82期末(2021年10月20日)	3,999	30	16.5	7,548	21.7	—	98.2	1,390
83期末(2021年11月22日)	3,718	10	△ 6.8	6,922	△ 8.3	—	97.4	1,336
84期末(2021年12月20日)	3,518	10	△ 5.1	6,532	△ 5.6	—	98.0	1,240
85期末(2022年1月20日)	3,904	10	11.3	7,565	15.8	—	97.4	1,358
86期末(2022年2月21日)	4,010	10	3.0	7,830	3.5	—	98.1	1,347
87期末(2022年3月22日)	4,296	10	7.4	8,331	6.4	—	98.9	1,438
88期末(2022年4月20日)	5,072	10	18.3	9,795	17.6	—	95.2	1,708
89期末(2022年5月20日)	4,707	10	△ 7.0	9,237	△ 5.7	—	97.8	1,527
90期末(2022年6月20日)	4,458	10	△ 5.1	8,826	△ 4.5	—	97.7	1,306
91期末(2022年7月20日)	4,863	10	9.3	9,710	10.0	—	98.8	1,415
92期末(2022年8月22日)	5,327	10	9.7	10,704	10.2	—	97.3	1,561
93期末(2022年9月20日)	5,412	10	1.8	11,119	3.9	—	98.2	1,577
94期末(2022年10月20日)	5,565	10	3.0	11,616	4.5	—	98.0	1,612
95期末(2022年11月21日)	5,465	10	△ 1.6	11,417	△ 1.7	—	98.0	1,545
96期末(2022年12月20日)	5,016	10	△ 8.0	10,304	△ 9.7	—	97.9	1,371
97期末(2023年1月20日)	5,005	10	△ 0.0	10,609	3.0	—	97.9	1,357
98期末(2023年2月20日)	5,143	10	3.0	11,322	6.7	—	98.5	1,390
99期末(2023年3月20日)	4,695	10	△ 8.5	10,482	△ 7.4	—	98.6	1,233
100期末(2023年4月20日)	5,006	10	6.8	11,194	6.8	—	98.7	1,302
101期末(2023年5月22日)	5,053	10	1.1	11,772	5.2	—	98.3	1,309
102期末(2023年6月20日)	5,192	10	2.9	12,312	4.6	—	98.1	1,324
103期末(2023年7月20日)	5,336	10	3.0	12,480	1.4	—	98.8	1,356
104期末(2023年8月21日)	5,646	10	6.0	13,279	6.4	—	98.9	1,424
105期末(2023年9月20日)	5,825	10	3.3	13,962	5.1	—	98.5	1,449
106期末(2023年10月20日)	5,990	10	3.0	14,556	4.3	—	98.3	1,417

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) アレリアンMLP指数(配当込み、円換算)は、Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)はGKD Index Partners LLC d/b/a Alerianが算出しており、その商標を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

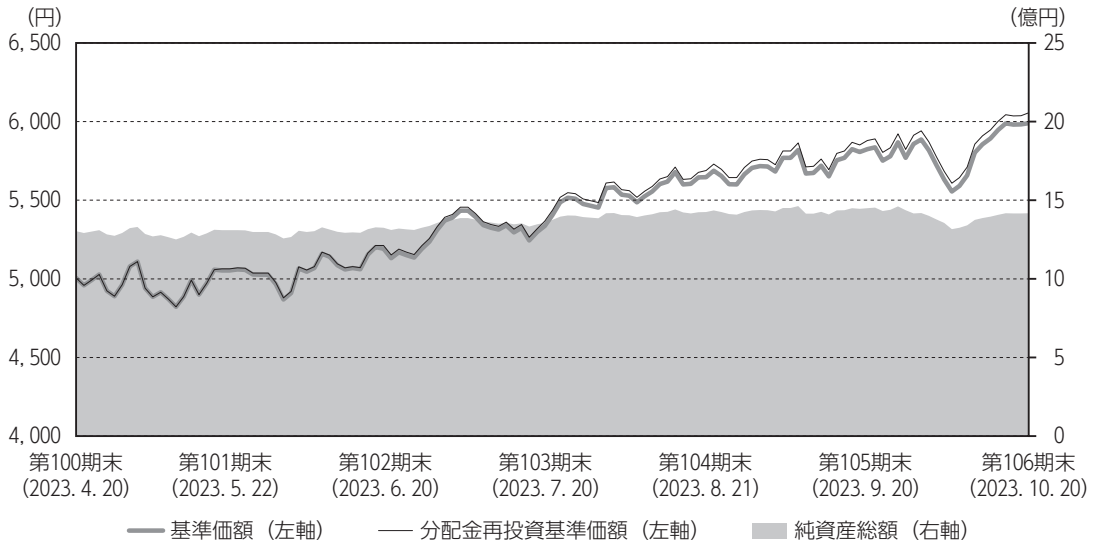
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第101期首：5,006円

第106期末：5,990円（既払分配金60円）

騰落率：21.0%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

MLP（※）市況が上昇したことに加え、米ドルが対円で上昇（円安）したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※MLPは、米国で行われている共同投資事業形態のひとつであり、その出資持分が米国の金融商品取引所等で取引されています。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 米ドルコース

	年 月 日	基 準 価 額		アレリアンMLP指数 (配当込み、円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第101期	(期首)2023年4月20日	5,006	—	11,194	—	—	98.7
	4月末	4,962	△ 0.9	11,149	△ 0.4	—	98.7
	(期末)2023年5月22日	5,063	1.1	11,772	5.2	—	98.3
第102期	(期首)2023年5月22日	5,053	—	11,772	—	—	98.3
	5月末	4,966	△ 1.7	11,698	△ 0.6	—	98.7
	(期末)2023年6月20日	5,202	2.9	12,312	4.6	—	98.1
第103期	(期首)2023年6月20日	5,192	—	12,312	—	—	98.1
	6月末	5,371	3.4	12,512	1.6	—	98.2
	(期末)2023年7月20日	5,346	3.0	12,480	1.4	—	98.8
第104期	(期首)2023年7月20日	5,336	—	12,480	—	—	98.8
	7月末	5,453	2.2	12,818	2.7	—	98.9
	(期末)2023年8月21日	5,656	6.0	13,279	6.4	—	98.9
第105期	(期首)2023年8月21日	5,646	—	13,279	—	—	98.9
	8月末	5,715	1.2	13,496	1.6	—	98.2
	(期末)2023年9月20日	5,835	3.3	13,962	5.1	—	98.5
第106期	(期首)2023年9月20日	5,825	—	13,962	—	—	98.5
	9月末	5,886	1.0	14,320	2.6	—	98.3
	(期末)2023年10月20日	6,000	3.0	14,556	4.3	—	98.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2023. 4. 21 ~ 2023. 10. 20)

MLP市況

MLP市況は上昇しました。

MLP市場は、当作成期首より、米国地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、MLP関連のM&A（合併・買収）に関するニュースなどが好感され、おおむね横ばいでの推移となりました。2023年6月以降は、債務上限問題の解決やインフレ率の鈍化、堅調な原油価格などが下支えとなり、大幅に上昇しました。10月に入ると、月初は原油価格の下落に連れてMLP市場も下落しました。しかしその後は、中東での地政学リスクの高まりを受け、世界的なエネルギー供給停滞への懸念から原油価格の反発とともに、MLP市場も当作成期末にかけて大きく上昇しました。

為替相場

米ドル円為替相場は上昇しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首より、米国金利に連れる格好でレンジでの推移となりましたが、2023年4月末にかけては、次回のFOMC（米国連邦公開市場委員会）での利上げが意識される展開となり、小幅に上昇しました。その後は、経済指標の上振れなどを背景に米国金利が上昇するに連れて、米ドルは対円で上昇基調を強めました。6月に入ると、FRB（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを引き上げた一方で、日銀は現状の金融緩和政策の維持を決定したことなどから、月末にかけて米ドルは対円での上昇幅を拡大しました。7月は、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受け、米ドルは対円で下落（円高）しました。8月には、米国金利の上昇による日米金利差の拡大が意識され、米ドルは対円で上昇しました。当作成期末にかけては、米国金利が大きく上昇したことや、日銀が緩和的な金融政策の維持を発表したことから、米ドルは対円で継続して上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）：CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

■アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

ファンドの満期償還に向けて、MLP市場に投資するETF（上場投資信託）および川中事業を中心に行う株式（以下、川中関連株式）を組み合わせ、バランスの取れたポートフォリオで運用を継続する方針です。川中関連株式については、規模と安定性に優れ、世界のエネルギー需要の拡大から恩恵を受ける大型の銘柄を中心に、銘柄を厳選してまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2023. 4. 21 ~ 2023. 10. 20)

■当ファンド

当ファンドは、「アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期は「アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）」を高位に組み入れました。

■アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

ファンドの満期償還に向けて、MLP市場に投資するETF（上場投資信託）および川中関連株式を組み合わせたポートフォリオでの運用を継続しました。

株式部分の運用においては、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、銘柄の選定を行いました。

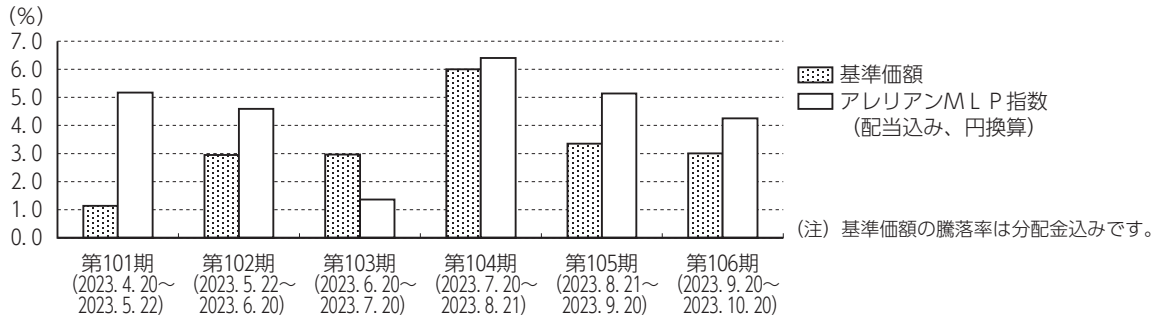
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドは、参考指数と比較して「原油・精製品パイプライン、貯蔵」の組入比率が低いという特徴があります。参考指数はMLP市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
	2023年4月21日 ～2023年5月22日	2023年5月23日 ～2023年6月20日	2023年6月21日 ～2023年7月20日	2023年7月21日 ～2023年8月21日	2023年8月22日 ～2023年9月20日	2023年9月21日 ～2023年10月20日
当期分配金(税込み) (円)	10	10	10	10	10	10
対基準価額比率 (%)	0.20	0.19	0.19	0.18	0.17	0.17
当期の収益 (円)	5	6	6	6	6	6
当期の収益以外 (円)	4	3	3	3	3	3
翌期繰越分配対象額 (円)	339	336	332	328	325	321

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計上し、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 5.96円	✓ 6.28円	✓ 6.25円	✓ 6.34円	✓ 6.26円	✓ 6.19円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	302.27	302.29	302.31	302.33	302.35	302.37
(d) 分配準備積立金	✓ 41.65	✓ 37.59	✓ 33.86	✓ 30.09	✓ 26.42	✓ 22.67
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	349.89	346.18	342.43	338.77	335.04	331.23
(f) 分配金	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	339.89	336.18	332.43	328.77	325.04	321.23

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

ファンドの満期償還に向けて、MLP市場に投資するETF（上場投資信託）および川中関連株式を組み合わせ、バランスの取れたポートフォリオで運用を継続する方針です。川中関連株式については、規模と安定性に優れ、世界のエネルギー需要の拡大から恩恵を受ける大型の銘柄を中心に、銘柄を厳選してまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第101期～第106期 (2023. 4. 21～2023. 10. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	35円	0.644%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は5,400円です。
(投 信 会 社)	(12)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(22)	(0.412)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	35	0.647	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

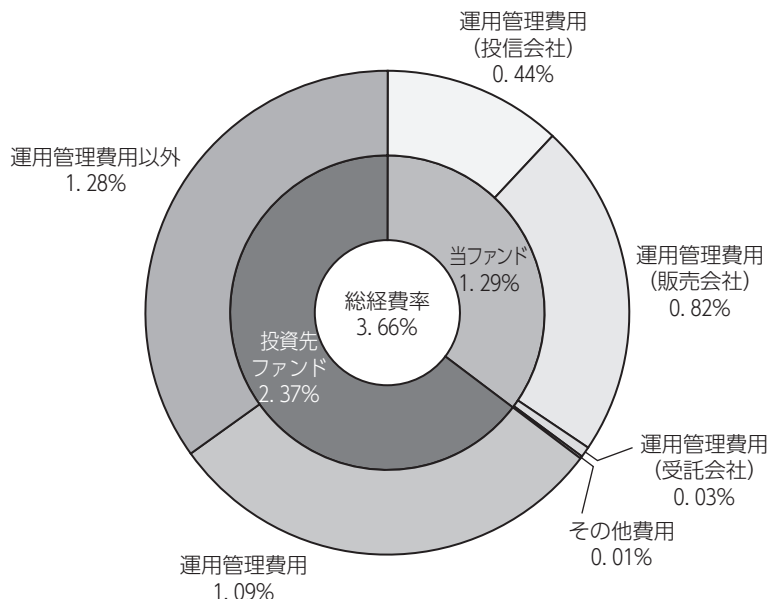
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.66%です。



総経費率 (① + ② + ③)	3.66%
①当ファンドの費用の比率	1.29%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.09%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	1.28%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、MLP投資に関連して還付が見込まれる税金および還付された税金を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2023年4月21日から2023年10月20日まで)

決算期	第 101 期 ～ 第 106 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	172.72711	9,801	2,784.64952	163,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2023年4月21日から2023年10月20日まで)

第 101 期 ～				第 106 期			
買 付			売 付				
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				AMERICAN MLP FUND NON HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	2,784.64952	163,000	58

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 106 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AMERICAN MLP FUND NON HEDGED CLASS	21,726.37593	1,392,964	98.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第100期末			第 106 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	9	9	9			

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年10月20日現在

項 目	第 106 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,392,964	98.0
ダイワ・マネー・マザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	28,473	2.0
投資信託財産総額	1,421,448	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 米ドルコース

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年5月22日)、(2023年6月20日)、(2023年7月20日)、(2023年8月21日)、(2023年9月20日)、(2023年10月20日)現在

項目	第101期末	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末
(A) 資産	1,314,470,021円	1,329,691,584円	1,360,543,784円	1,438,181,219円	1,454,437,874円	1,421,448,575円
コール・ローン等	27,055,757	29,925,718	20,069,631	29,736,894	27,127,408	28,473,735
投資信託受益証券（評価額）	1,287,404,288	1,299,755,890	1,340,464,177	1,408,434,350	1,427,300,491	1,392,964,866
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	9,976	9,976	9,976	9,975	9,975	9,974
(B) 負債	4,762,882	4,884,559	4,013,543	13,906,983	4,921,529	3,902,478
未払収益分配金	2,591,695	2,551,664	2,542,264	2,522,424	2,488,371	2,366,695
未払解約金	699,045	984,027	15,732	9,759,867	871,157	253
未払信託報酬	1,462,821	1,331,064	1,428,637	1,587,669	1,515,324	1,479,425
その他未払費用	9,321	17,804	26,910	37,023	46,677	56,105
(C) 純資産総額（A－B）	1,309,707,139	1,324,807,025	1,356,530,241	1,424,274,236	1,449,516,345	1,417,546,097
元本	2,591,695,537	2,551,664,208	2,542,264,768	2,522,424,261	2,488,371,491	2,366,695,556
次期繰越損益金	△ 1,281,988,398	△ 1,226,857,183	△ 1,185,734,527	△ 1,098,150,025	△ 1,038,855,146	△ 949,149,459
(D) 受益権総口数	2,591,695,537口	2,551,664,208口	2,542,264,768口	2,522,424,261口	2,488,371,491口	2,366,695,556口
1万口当り基準価額（C/D）	5,053円	5,192円	5,336円	5,646円	5,825円	5,990円

* 当作成期首における元本額は2,602,500,214円、当作成期間（第101期～第106期）中における追加設定元本額は10,134,761円、同解約元本額は245,939,419円です。

* 第106期末の計算口数当りの純資産額は5,990円です。

* 第106期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は949,149,459円です。

■損益の状況

第101期 自 2023年4月21日 至 2023年5月22日

第103期 自 2023年6月21日 至 2023年7月20日

第105期 自 2023年8月22日 至 2023年9月20日

第102期 自 2023年5月23日 至 2023年6月20日

第104期 自 2023年7月21日 至 2023年8月21日

第106期 自 2023年9月21日 至 2023年10月20日

項目	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
(A) 配当等収益	1,700,665円	1,660,685円	1,648,843円	1,631,272円	1,610,703円	1,518,089円
受取配当金	1,701,442	1,661,641	1,649,849	1,632,435	1,611,828	1,518,701
受取利息	—	2	—	—	—	11
支払利息	△ 777	△ 958	△ 1,006	△ 1,163	△ 1,125	△ 623
(B) 有価証券売買損益	14,605,603	37,560,165	38,933,338	80,813,289	46,870,198	41,239,765
売買益	15,051,532	37,762,654	39,059,230	81,331,407	47,262,453	42,649,600
売買損	△ 445,929	△ 202,489	△ 125,892	△ 518,118	△ 392,255	△ 1,409,835
(C) 信託報酬等	△ 1,472,142	△ 1,339,547	△ 1,437,743	△ 1,597,782	△ 1,524,978	△ 1,488,853
(D) 当期損益金（A+B+C）	14,834,126	37,881,303	39,144,438	80,846,779	46,955,923	41,269,001
(E) 前期繰越損益金	△ 704,767,824	△ 681,372,101	△ 643,252,894	△ 601,521,955	△ 515,818,665	△ 447,973,319
(F) 追加信託差損益金	△ 589,463,005	△ 580,814,721	△ 579,083,807	△ 574,952,425	△ 567,504,033	△ 540,078,446
（配当等相当額）	（ 78,339,862）	（ 77,136,266）	（ 76,857,628）	（ 76,262,796）	（ 75,237,291）	（ 71,562,407）
（売買損益相当額）	（△ 667,802,867）	（△ 657,950,987）	（△ 655,941,435）	（△ 651,215,221）	（△ 642,741,324）	（△ 611,640,853）
(G) 合計（D+E+F）	△ 1,279,396,703	△ 1,224,305,519	△ 1,183,192,263	△ 1,095,627,601	△ 1,036,366,775	△ 946,782,764
(H) 収益分配金	△ 2,591,695	△ 2,551,664	△ 2,542,264	△ 2,522,424	△ 2,488,371	△ 2,366,695
次期繰越損益金（G+H）	△ 1,281,988,398	△ 1,226,857,183	△ 1,185,734,527	△ 1,098,150,025	△ 1,038,855,146	△ 949,149,459
追加信託差損益金	△ 589,463,005	△ 580,814,721	△ 579,083,807	△ 574,952,425	△ 567,504,033	△ 540,078,446
（配当等相当額）	（ 78,339,862）	（ 77,136,266）	（ 76,857,628）	（ 76,262,796）	（ 75,237,291）	（ 71,562,407）
（売買損益相当額）	（△ 667,802,867）	（△ 657,950,987）	（△ 655,941,435）	（△ 651,215,221）	（△ 642,741,324）	（△ 611,640,853）
分配準備積立金	9,750,426	8,645,752	7,656,627	6,669,109	5,646,756	4,465,231
繰越損益金	△ 702,275,819	△ 654,688,214	△ 614,307,347	△ 529,866,709	△ 476,997,869	△ 413,536,244

（注1） 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2） 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3） 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,547,121円	1,604,022円	1,590,471円	1,599,636円	1,560,074円	1,465,235円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	78,339,862	77,136,266	76,857,628	76,262,796	75,237,291	71,562,407
(d) 分配準備積立金	10,795,000	9,593,394	8,608,420	7,591,897	6,575,053	5,366,691
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	90,681,983	88,333,682	87,056,519	85,454,329	83,372,418	78,394,333
(f) 分配金	2,591,695	2,551,664	2,542,264	2,522,424	2,488,371	2,366,695
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	88,090,288	85,782,018	84,514,255	82,931,905	80,884,047	76,027,638
(h) 受益権総口数	2,591,695,537口	2,551,664,208口	2,542,264,768口	2,522,424,261口	2,488,371,491口	2,366,695,556口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金(税込み)	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
		10円	10円	10円	10円	10円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

日本円コース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			アレリアンMLP指数 (配当込み、米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
77期末(2021年5月20日)	3,072	30	9.0	6,374	10.2	—	96.7	319
78期末(2021年6月21日)	3,142	30	3.3	6,745	5.8	—	98.8	323
79期末(2021年7月20日)	2,881	30	△ 7.4	6,046	△ 10.4	—	97.9	297
80期末(2021年8月20日)	2,833	30	△ 0.6	5,977	△ 1.1	—	97.0	254
81期末(2021年9月21日)	2,914	30	3.9	6,046	1.2	—	97.9	256
82期末(2021年10月20日)	3,242	30	12.3	7,032	16.3	—	98.0	285
83期末(2021年11月22日)	3,020	10	△ 6.5	6,482	△ 7.8	—	98.2	261
84期末(2021年12月20日)	2,863	10	△ 4.9	6,143	△ 5.2	—	98.2	248
85期末(2022年1月20日)	3,153	10	10.5	7,071	15.1	—	99.0	264
86期末(2022年2月21日)	3,214	10	2.3	7,271	2.8	—	98.2	266
87期末(2022年3月22日)	3,322	10	3.7	7,416	2.0	—	97.9	277
88期末(2022年4月20日)	3,633	10	9.7	8,086	9.0	—	97.9	288
89期末(2022年5月20日)	3,410	10	△ 5.9	7,720	△ 4.5	—	98.6	277
90期末(2022年6月20日)	3,042	10	△ 10.5	6,972	△ 9.7	—	97.7	246
91期末(2022年7月20日)	3,249	10	7.1	7,509	7.7	—	98.2	263
92期末(2022年8月22日)	3,568	10	10.1	8,338	11.0	—	98.1	269
93期末(2022年9月20日)	3,470	10	△ 2.5	8,292	△ 0.6	—	96.8	266
94期末(2022年10月20日)	3,390	10	△ 2.0	8,275	△ 0.2	—	97.1	260
95期末(2022年11月21日)	3,539	10	4.7	8,691	5.0	—	98.4	265
96期末(2022年12月20日)	3,297	10	△ 6.6	8,184	△ 5.8	—	98.7	247
97期末(2023年1月20日)	3,484	10	6.0	8,807	7.6	—	98.4	259
98期末(2023年2月20日)	3,411	10	△ 1.8	8,998	2.2	—	98.5	244
99期末(2023年3月20日)	3,157	10	△ 7.2	8,442	△ 6.2	—	98.0	218
100期末(2023年4月20日)	3,285	10	4.4	8,865	5.0	—	98.7	227
101期末(2023年5月22日)	3,208	10	△ 2.0	9,133	3.0	—	98.2	215
102期末(2023年6月20日)	3,210	10	0.4	9,250	1.3	—	99.0	215
103期末(2023年7月20日)	3,323	10	3.8	9,545	3.2	—	98.4	221
104期末(2023年8月21日)	3,362	10	1.5	9,763	2.3	—	97.9	223
105期末(2023年9月20日)	3,392	10	1.2	10,091	3.4	—	98.6	225
106期末(2023年10月20日)	3,417	10	1.0	10,372	2.8	—	98.0	226

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) アレリアンMLP指数(配当込み、米ドルベース)は、Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)はGKD Index Partners LLC d/b/a Alerianが算出しており、その商標を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

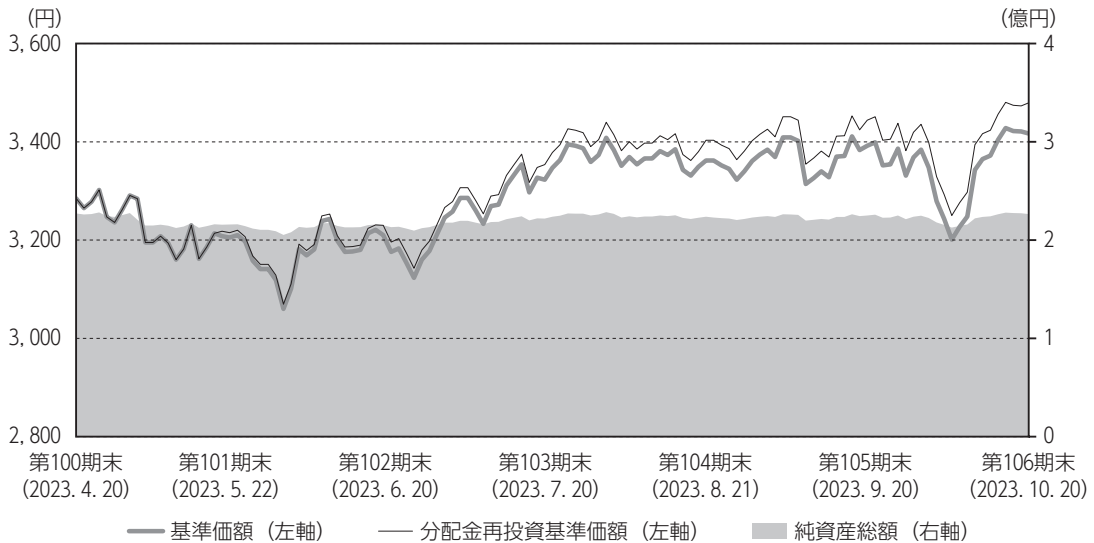
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第101期首：3,285円

第106期末：3,417円（既払分配金60円）

騰落率：5.9%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

MLP（※）市況が上昇したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※MLPは、米国で行われている共同投資事業形態のひとつであり、その出資持分が米国の金融商品取引所等で取引されています。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 日本円コース

	年 月 日	基 準 価 額		アレリアンMLP指数 (配当込み、米ドルベース) (参考指数)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	%	騰 落 率	騰 落 率		
第101期	(期首)2023年4月20日	3,285	—	8,865	—	—	98.7
	4月末	3,262	△ 0.7	8,882	0.2	—	98.7
	(期末)2023年5月22日	3,218	△ 2.0	9,133	3.0	—	98.2
第102期	(期首)2023年5月22日	3,208	—	9,133	—	—	98.2
	5月末	3,119	△ 2.8	8,942	△ 2.1	—	98.5
	(期末)2023年6月20日	3,220	0.4	9,250	1.3	—	99.0
第103期	(期首)2023年6月20日	3,210	—	9,250	—	—	99.0
	6月末	3,246	1.1	9,220	△ 0.3	—	97.5
	(期末)2023年7月20日	3,333	3.8	9,545	3.2	—	98.4
第104期	(期首)2023年7月20日	3,323	—	9,545	—	—	98.4
	7月末	3,373	1.5	9,716	1.8	—	98.1
	(期末)2023年8月21日	3,372	1.5	9,763	2.3	—	97.9
第105期	(期首)2023年8月21日	3,362	—	9,763	—	—	97.9
	8月末	3,384	0.7	9,863	1.0	—	98.2
	(期末)2023年9月20日	3,402	1.2	10,091	3.4	—	98.6
第106期	(期首)2023年9月20日	3,392	—	10,091	—	—	98.6
	9月末	3,384	△ 0.2	10,230	1.4	—	98.4
	(期末)2023年10月20日	3,427	1.0	10,372	2.8	—	98.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2023. 4. 21 ~ 2023. 10. 20)

■MLP市況

MLP市況は上昇しました。

MLP市場は、当作成期首より、米国地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、MLP関連のM&A（合併・買収）に関するニュースなどが好感され、おおむね横ばいでの推移となりました。2023年6月以降は、債務上限問題の解決やインフレ率の鈍化、堅調な原油価格などが下支えとなり、大幅に上昇しました。10月に入ると、月初は原油価格の下落に連れてMLP市場も下落しました。しかしその後は、中東での地政学リスクの高まりを受け、世界的なエネルギー供給停滞への懸念から原油価格の反発とともに、MLP市場も当作成期末にかけて大きく上昇しました。

■前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）：CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

■アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

ファンドの満期償還に向けて、MLP市場に投資するETF（上場投資信託）および川中事業を中心に行う株式（以下、川中関連株式）を組み合わせ、バランスの取れたポートフォリオで運用を継続する方針です。川中関連株式については、規模と安定性に優れ、世界のエネルギー需要の拡大から恩恵を受ける大型の銘柄を中心に、銘柄を厳選してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2023. 4. 21 ~ 2023. 10. 20)

当ファンド

当ファンドは、「アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。当完成期は「アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）」を高位に組み入れました。

アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

ファンドの満期償還に向けて、MLP市場に投資するETF（上場投資信託）および川中関連株式を組み合わせたポートフォリオでの運用を継続しました。

株式部分の運用においては、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、銘柄の選定を行いました。

また、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行いました。

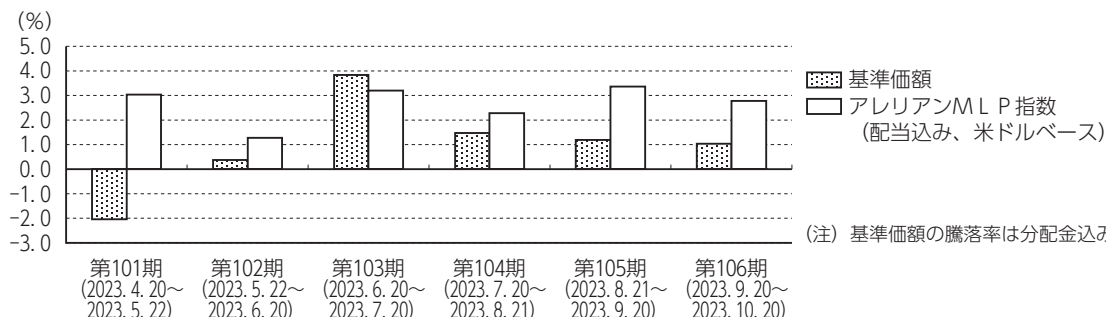
ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドは、参考指数と比較して「原油・精製品パイプライン、貯蔵」の組入比率が低いという特徴があります。参考指数はMLP市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
	2023年4月21日 ～2023年5月22日	2023年5月23日 ～2023年6月20日	2023年6月21日 ～2023年7月20日	2023年7月21日 ～2023年8月21日	2023年8月22日 ～2023年9月20日	2023年9月21日 ～2023年10月20日
当期分配金(税込み) (円)	10	10	10	10	10	10
対基準価額比率 (%)	0.31	0.31	0.30	0.30	0.29	0.29
当期の収益 (円)	2	5	6	6	5	5
当期の収益以外 (円)	7	4	3	3	4	4
翌期繰越分配対象額 (円)	396	392	388	384	380	376

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 2.83円	✓ 5.23円	✓ 6.35円	✓ 6.09円	✓ 5.98円	✓ 5.92円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 403.96	✓ 396.80	✓ 392.04	✓ 388.39	✓ 384.49	✓ 380.47
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	406.80	402.04	398.39	394.49	390.47	386.39
(f) 分配金	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	396.80	392.04	388.39	384.49	380.47	376.39

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

ファンドの満期償還に向けて、MLP市場に投資するETF（上場投資信託）および川中関連株式を組み合わせ、バランスの取れたポートフォリオで運用を継続する方針です。川中関連株式については、規模と安定性に優れ、世界のエネルギー需要の拡大から恩恵を受ける大型の銘柄を中心に、銘柄を厳選してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第101期～第106期 (2023. 4. 21～2023. 10. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	21円	0. 643%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は3, 289円です。
(投 信 会 社)	(7)	(0. 219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(14)	(0. 411)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	21	0. 647	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

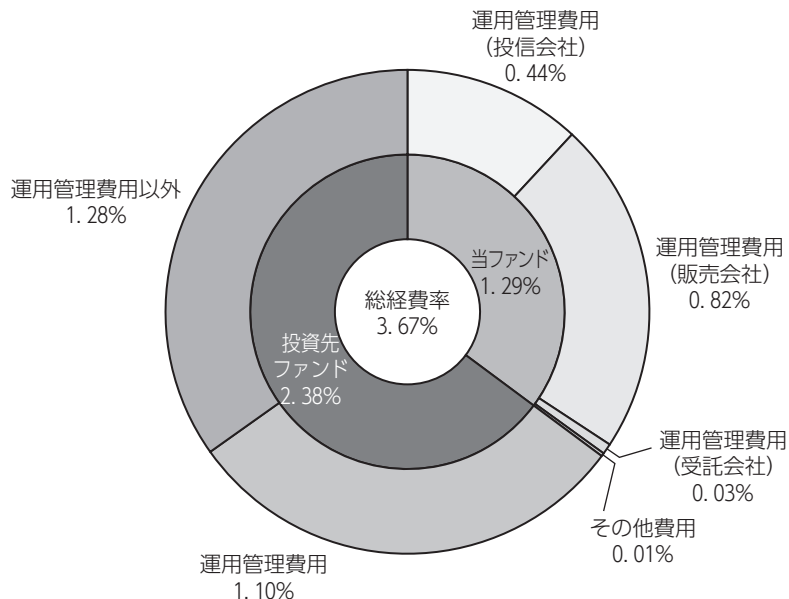
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.67%です。



総経費率 (① + ② + ③)	3.67%
①当ファンドの費用の比率	1.29%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.10%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	1.28%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、MLP投資に関連して還付が見込まれる税金および還付された税金を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2023年4月21日から2023年10月20日まで)

決算期	第 101 期 ～ 第 106 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	76.55047	2,622	473.72872	16,440

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2023年4月21日から2023年10月20日まで)

第 101 期 ～ 第 106 期							
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				AMERICAN MLP FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	473.72872	16,440	34

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 106 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AMERICAN MLP FUND JPY HEDGED CLASS	6,133.95098	221,920	98.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第100期末			第 106 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・ マザーファンド	6	6	7			

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年10月20日現在

項 目	第 106 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	221,920	97.3
ダイワ・マネー・マザーファンド	7	0.0
コール・ローン等、その他	6,111	2.7
投資信託財産総額	228,038	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 日本円コース

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年5月22日)、(2023年6月20日)、(2023年7月20日)、(2023年8月21日)、(2023年9月20日)、(2023年10月20日)現在

項目	第101期末	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末
(A) 資産	216,579,132円	216,134,693円	222,930,260円	224,604,751円	225,964,275円	230,478,933円
コール・ローン等	4,712,567	3,200,325	4,594,308	5,701,105	4,151,179	3,671,646
投資信託受益証券（評価額）	211,859,489	212,927,292	218,328,876	218,896,570	221,806,020	221,920,213
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	7,076	7,076	7,076	7,076	7,076	7,075
未収入金	—	—	—	—	—	4,879,999
(B) 負債	922,423	1,018,014	1,089,756	926,321	912,755	4,042,654
未払金	—	—	—	—	—	2,440,000
未払収益分配金	672,292	670,053	667,684	665,306	663,418	662,640
未払解約金	—	126,809	187,337	1,335	5,448	696,007
未払信託報酬	248,565	218,210	230,335	253,676	236,391	235,023
その他未払費用	1,566	2,942	4,400	6,004	7,498	8,984
(C) 純資産総額（A－B）	215,656,709	215,116,679	221,840,504	223,678,430	225,051,520	226,436,279
元本	672,292,370	670,053,256	667,684,078	665,306,090	663,418,175	662,640,558
次期繰越損益金	△ 456,635,661	△ 454,936,577	△ 445,843,574	△ 441,627,660	△ 438,366,655	△ 436,204,279
(D) 受益権総口数	672,292,370口	670,053,256口	667,684,078口	665,306,090口	663,418,175口	662,640,558口
1万口当り基準価額（C/D）	3,208円	3,210円	3,323円	3,362円	3,392円	3,417円

* 当作成期首における元本額は691,156,459円、当作成期間（第101期～第106期）中における追加設定元本額は9,126,245円、同解約元本額は37,642,146円です。

* 第106期末の計算口数当りの純資産額は3,417円です。

* 第106期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は436,204,279円です。

■損益の状況

第101期 自 2023年4月21日 至 2023年5月22日 第103期 自 2023年6月21日 至 2023年7月20日 第105期 自 2023年8月22日 至 2023年9月20日
 第102期 自 2023年5月23日 至 2023年6月20日 第104期 自 2023年7月21日 至 2023年8月21日 第106期 自 2023年9月21日 至 2023年10月20日

項目	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
(A) 配当等収益	440,741円	441,484円	436,239円	437,263円	432,188円	432,491円
受取配当金	440,889	441,639	436,350	437,456	432,354	432,559
受取利息	1	—	—	1	—	—
支払利息	△ 149	△ 155	△ 111	△ 194	△ 166	△ 68
(B) 有価証券売買損益	△ 4,695,087	627,827	7,946,573	3,100,302	2,477,102	2,116,004
売買益	19,582	628,487	7,965,163	3,130,207	2,477,192	2,121,148
売買損	△ 4,714,669	△ 660	△ 18,590	△ 29,905	△ 90	△ 5,144
(C) 信託報酬等	△ 250,131	△ 219,586	△ 231,793	△ 255,280	△ 237,885	△ 236,509
(D) 当期損益金（A+B+C）	△ 4,504,477	849,725	8,151,019	3,282,285	2,671,405	2,311,986
(E) 前期繰越損益金	△ 218,829,137	△ 222,331,218	△ 220,634,065	△ 211,298,408	△ 207,450,136	△ 204,531,913
(F) 追加信託差損益金	△ 232,629,755	△ 232,785,031	△ 232,692,844	△ 232,946,231	△ 232,924,506	△ 233,321,712
(配当等相当額)	(27,158,539)	(26,588,070)	(26,175,971)	(25,840,154)	(25,507,999)	(25,211,885)
(売買損益相当額)	(△ 259,788,294)	(△ 259,373,101)	(△ 258,868,815)	(△ 258,786,385)	(△ 258,432,505)	(△ 258,533,597)
(G) 合計（D+E+F）	△ 455,963,369	△ 454,266,524	△ 445,175,890	△ 440,962,354	△ 437,703,237	△ 435,541,639
(H) 収益分配金	672,292	670,053	667,684	665,306	663,418	662,640
次期繰越損益金（G+H）	△ 456,635,661	△ 454,936,577	△ 445,843,574	△ 441,627,660	△ 438,366,655	△ 436,204,279
追加信託差損益金	△ 233,111,437	△ 233,104,267	△ 232,936,342	△ 233,205,827	△ 233,191,086	△ 233,591,997
(配当等相当額)	(26,676,857)	(26,268,834)	(25,932,473)	(25,580,558)	(25,241,419)	(24,941,600)
(売買損益相当額)	(△ 259,788,294)	(△ 259,373,101)	(△ 258,868,815)	(△ 258,786,385)	(△ 258,432,505)	(△ 258,533,597)
繰越損益金	△ 223,524,224	△ 221,832,310	△ 212,907,232	△ 208,421,833	△ 205,175,569	△ 202,612,282

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
(a) 経費控除後の配当等収益	190,610円	350,817円	424,186円	405,710円	396,838円	392,355円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	27,158,539	26,588,070	26,175,971	25,840,154	25,507,999	25,211,885
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	27,349,149	26,938,887	26,600,157	26,245,864	25,904,837	25,604,240
(f) 分配金	672,292	670,053	667,684	665,306	663,418	662,640
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	26,676,857	26,268,834	25,932,473	25,580,558	25,241,419	24,941,600
(h) 受益権総口数	672,292,370口	670,053,256口	667,684,078口	665,306,090口	663,418,175口	662,640,558口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金(税込み)	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
		10円	10円	10円	10円	10円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

<ul style="list-style-type: none"> ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。 ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

通貨αコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			公社債組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰落 率			
	円	円	%	%	%	百万円
77期末(2021年5月20日)	2,006	20	9.6	—	98.2	660
78期末(2021年6月21日)	2,080	20	4.7	—	98.0	680
79期末(2021年7月20日)	1,894	20	△ 8.0	—	97.8	613
80期末(2021年8月20日)	1,872	20	△ 0.1	—	98.0	600
81期末(2021年9月21日)	1,935	20	4.4	—	98.0	589
82期末(2021年10月20日)	2,201	20	14.8	—	98.3	663
83期末(2021年11月22日)	2,043	10	△ 6.7	—	98.7	599
84期末(2021年12月20日)	1,935	10	△ 4.8	—	97.9	553
85期末(2022年1月20日)	2,139	10	11.1	—	98.9	596
86期末(2022年2月21日)	2,192	10	2.9	—	98.6	607
87期末(2022年3月22日)	2,314	10	6.0	—	98.8	635
88期末(2022年4月20日)	2,648	10	14.9	—	98.8	732
89期末(2022年5月20日)	2,452	10	△ 7.0	—	98.7	671
90期末(2022年6月20日)	2,284	10	△ 6.4	—	97.6	606
91期末(2022年7月20日)	2,478	10	8.9	—	98.3	657
92期末(2022年8月22日)	2,724	10	10.3	—	98.2	698
93期末(2022年9月20日)	2,716	10	0.1	—	98.3	691
94期末(2022年10月20日)	2,744	10	1.4	—	98.9	687
95期末(2022年11月21日)	2,723	10	△ 0.4	—	98.0	666
96期末(2022年12月20日)	2,502	10	△ 7.7	—	96.8	605
97期末(2023年1月20日)	2,509	10	0.7	—	97.4	606
98期末(2023年2月20日)	2,540	10	1.6	—	98.3	612
99期末(2023年3月20日)	2,312	10	△ 8.6	—	98.0	554
100期末(2023年4月20日)	2,464	10	7.0	—	98.0	586
101期末(2023年5月22日)	2,457	10	0.1	—	98.6	576
102期末(2023年6月20日)	2,500	10	2.2	—	98.3	583
103期末(2023年7月20日)	2,577	10	3.5	—	98.0	600
104期末(2023年8月21日)	2,681	10	4.4	—	98.4	615
105期末(2023年9月20日)	2,740	10	2.6	—	98.5	624
106期末(2023年10月20日)	2,795	10	2.4	—	98.8	628

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

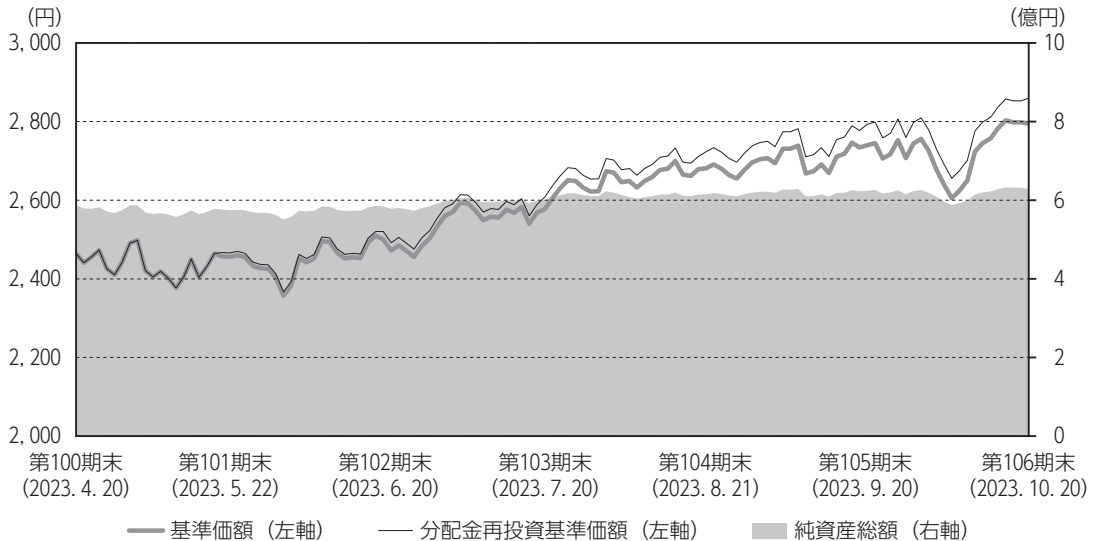
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第101期首：2,464円

第106期末：2,795円（既払分配金60円）

騰落率：16.1%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

MLP（※）市況が上昇したことに加え、米ドルが対円で上昇（円安）したことがプラス要因となりました。オプション部分については、プレミアム収入（円に対する米ドルのコール・オプション（買う権利）の売却）は基準価額のプラス要因となりましたが、円に対する米ドルのコール・オプションを売却している中で、米ドル円が上昇する場面があったことなどが、基準価額の上昇を抑制しました。こうした市場の動きの中、当作成期の基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※MLPは、米国で行われている共同投資事業形態のひとつであり、その出資持分が米国の金融商品取引所等で取引されています。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 通貨αコース

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率 %		
第101期	(期首)2023年4月20日	2,464	—	—	98.0
	4月末	2,443	△ 0.9	—	97.7
	(期末)2023年5月22日	2,467	0.1	—	98.6
第102期	(期首)2023年5月22日	2,457	—	—	98.6
	5月末	2,403	△ 2.2	—	98.8
	(期末)2023年6月20日	2,510	2.2	—	98.3
第103期	(期首)2023年6月20日	2,500	—	—	98.3
	6月末	2,560	2.4	—	98.4
	(期末)2023年7月20日	2,587	3.5	—	98.0
第104期	(期首)2023年7月20日	2,577	—	—	98.0
	7月末	2,623	1.8	—	98.0
	(期末)2023年8月21日	2,691	4.4	—	98.4
第105期	(期首)2023年8月21日	2,681	—	—	98.4
	8月末	2,707	1.0	—	98.3
	(期末)2023年9月20日	2,750	2.6	—	98.5
第106期	(期首)2023年9月20日	2,740	—	—	98.5
	9月末	2,756	0.6	—	98.8
	(期末)2023年10月20日	2,805	2.4	—	98.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2023. 4. 21 ~ 2023. 10. 20)

MLP市況

MLP市況は上昇しました。

MLP市場は、当作成期首より、米国地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、MLP関連のM&A（合併・買収）に関するニュースなどが好感され、おおむね横ばいでの推移となりました。2023年6月以降は、債務上限問題の解決やインフレ率の鈍化、堅調な原油価格などが下支えとなり、大幅に上昇しました。10月に入ると、月初は原油価格の下落に連れてMLP市場も下落しました。しかしその後は、中東での地政学リスクの高まりを受け、世界的なエネルギー供給停滞への懸念から原油価格の反発とともに、MLP市場も当作成期末にかけて大きく上昇しました。

為替相場

米ドル円為替相場は上昇しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首より、米国金利に連れる格好でレンジでの推移となりましたが、2023年4月末にかけては、次回のFOMC（米国連邦公開市場委員会）での利上げが意識される展開となり、小幅に上昇しました。その後は、経済指標の上振れなどを背景に米国金利が上昇するに連れて、米ドルは対円で上昇基調を強めました。6月に入ると、FRB（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを引き上げた一方で、日銀は現状の金融緩和政策の維持を決定したことなどから、月末にかけて米ドルは対円での上昇幅を拡大しました。7月は、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受け、米ドルは対円で下落（円高）しました。8月には、米国金利の上昇による日米金利差の拡大が意識され、米ドルは対円で上昇しました。当作成期末にかけては、米国金利が大きく上昇したことや、日銀が緩和的な金融政策の維持を発表したことから、米ドルは対円で継続して上昇しました。

通貨オプション相場

通貨オプションのボラティリティは、低下しました。

当作成期首から2023年7月下旬にかけて、日銀の金融政策決定会合を控えて為替相場の先行き不透明感が高まり、ボラティリティは上昇しましたが、会合を通過すると為替相場の先行き不透明感が後退し、ボラティリティは低下しました。その後は米ドル円が落ち着いた推移となる中で、ボラティリティはさらに低下しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）：CBREクラリオン・トラストーダイワ/クラリオン・アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

■アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

ファンドの満期償還に向けて、MLP市場に投資するETF（上場投資信託）および川中事業を中心に行う株式（以下、川中関連株式）を組み合わせ、バランスの取れたポートフォリオで運用を継続する方針です。川中関連株式については、規模と安定性に優れ、世界のエネルギー需要の拡大から恩恵を受ける大型の銘柄を中心に、銘柄を厳選してまいります。

円に対する米ドルのコール・オプション（買う権利）を売却することで、オプションのプレミアム収入の確保をめざします。また、オプションのカバー率は、保有する米ドル建資産の評価額の50%程度を維持する方針です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2023. 4. 21 ~ 2023. 10. 20)

■当ファンド

当ファンドは、「アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期は「アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）」を高位に組み入れました。

■アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

ファンドの満期償還に向けて、MLP市場に投資するETF（上場投資信託）および川中関連株式を組み合わせたポートフォリオでの運用を継続しました。

株式部分の運用においては、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、銘柄の選定を行いました。

円に対する米ドルのコール・オプション（買う権利）を売却することで、オプションのプレミアム収入の確保をめざしました。また、オプションのカバー率は、保有する米ドル建資産の評価額の50%程度を維持しました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
	2023年4月21日 ～2023年5月22日	2023年5月23日 ～2023年6月20日	2023年6月21日 ～2023年7月20日	2023年7月21日 ～2023年8月21日	2023年8月22日 ～2023年9月20日	2023年9月21日 ～2023年10月20日
当期分配金(税込み) (円)	10	10	10	10	10	10
対基準価額比率 (%)	0.41	0.40	0.39	0.37	0.36	0.36
当期の収益 (円)	3	5	5	5	5	5
当期の収益以外 (円)	6	4	4	4	4	4
翌期繰越分配対象額 (円)	448	444	440	436	431	427

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 3.23円	✓ 5.78円	✓ 5.83円	✓ 5.80円	✓ 5.74円	✓ 5.68円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 455.36	✓ 448.60	✓ 444.38	✓ 440.22	✓ 436.02	✓ 431.77
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	458.60	454.38	450.22	446.02	441.77	437.45
(f) 分配金	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	448.60	444.38	440.22	436.02	431.77	427.45

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

ファンドの満期償還に向けて、MLP市場に投資するETF（上場投資信託）および川中関連株式を組み合わせ、バランスの取れたポートフォリオで運用を継続する方針です。川中関連株式については、規模と安定性に優れ、世界のエネルギー需要の拡大から恩恵を受ける大型の銘柄を中心に、銘柄を厳選してまいります。

円に対する米ドルのコール・オプション（買う権利）を売却することで、オプションのプレミアム収入の確保をめざします。また、オプションのカバー率は、保有する米ドル建資産の評価額の50%程度を維持する方針です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第101期～第106期 (2023. 4. 21～2023. 10. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	17円	0.643%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は2,585円です。
(投 信 会 社)	(6)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(11)	(0.411)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	0	0.007	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投 資 信 託 受 益 証 券)	(0)	(0.007)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.002	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	17	0.652	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

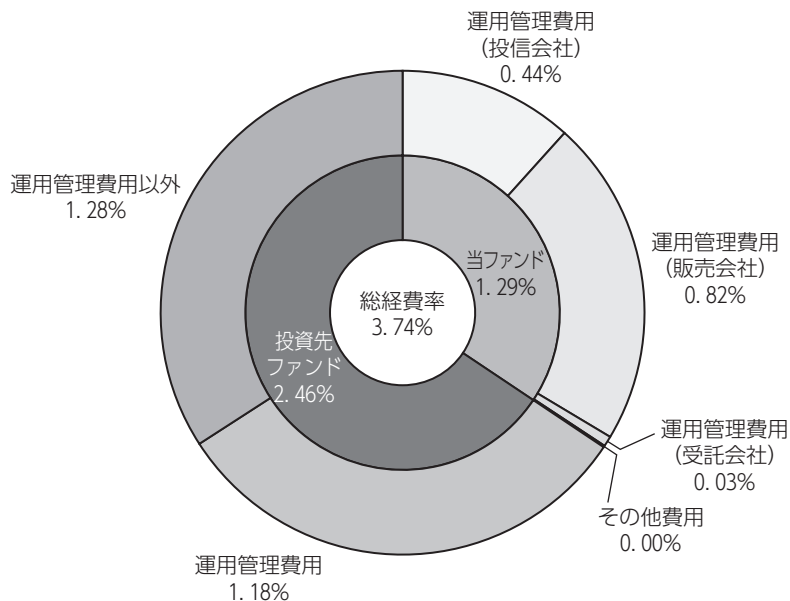
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含まず。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.74%です。



総経費率（①＋②＋③）	3.74%
①当ファンドの費用の比率	1.29%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.18%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	1.28%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、MLP投資に関連して還付が見込まれる税金および還付された税金を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2023年4月21日から2023年10月20日まで)

決算期	第 101 期 ~ 第 106 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	283.26136	8,313	1,620.31695	47,952

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2023年4月21日から2023年10月20日まで)

第 101 期 ~				第 106 期			
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				AMERICAN MLP FUND CURRENCY ALPHA CLASS (ケイマン諸島)	1,620.31695	47,952	29

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 106 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AMERICAN MLP FUND CURRENCY ALPHA CLASS	19,156.21586	620,642	98.8

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第100期末	第 106 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	9	9	9

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年10月20日現在

項 目	第 106 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	620,642	97.9
ダイワ・マネー・マザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	13,269	2.1
投資信託財産総額	633,921	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年5月22日)、(2023年6月20日)、(2023年7月20日)、(2023年8月21日)、(2023年9月20日)、(2023年10月20日)現在

項目	第101期末	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末
(A) 資産	579,439,877円	586,654,609円	610,823,018円	618,031,682円	627,007,393円	633,921,186円
コール・ローン等	11,382,025	12,581,748	9,000,269	13,029,450	12,586,215	13,269,319
投資信託受益証券（評価額）	568,048,220	574,063,229	587,827,117	604,992,601	614,411,547	620,642,237
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	9,632	9,632	9,632	9,631	9,631	9,630
未収入金	—	—	13,986,000	—	—	—
(B) 負債	3,259,262	2,941,326	10,734,232	3,002,094	2,952,907	5,488,872
未払金	—	—	6,993,000	—	—	—
未払収益分配金	2,344,876	2,334,531	2,328,981	2,294,212	2,277,861	2,248,587
未払解約金	260,441	12,455	772,405	—	—	2,563,461
未払信託報酬	649,812	586,477	627,988	691,624	654,623	652,251
その他未払費用	4,133	7,863	11,858	16,258	20,423	24,573
(C) 純資産総額（A－B）	576,180,615	583,713,283	600,088,786	615,029,588	624,054,486	628,432,314
元本	2,344,876,256	2,334,531,243	2,328,981,960	2,294,212,348	2,277,861,333	2,248,587,663
次期繰越損益金	△ 1,768,695,641	△ 1,750,817,960	△ 1,728,893,174	△ 1,679,182,760	△ 1,653,806,847	△ 1,620,155,349
(D) 受益権総口数	2,344,876,256口	2,334,531,243口	2,328,981,960口	2,294,212,348口	2,277,861,333口	2,248,587,663口
1万口当り基準価額（C/D）	2,457円	2,500円	2,577円	2,681円	2,740円	2,795円

* 当作成期首における元本額は2,379,419,463円、当作成期間（第101期～第106期）中における追加設定元本額は25,363,975円、同解約元本額は156,195,775円です。

* 第106期末の計算口数当りの純資産額は2,795円です。

* 第106期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,620,155,349円です。

■損益の状況

第101期 自 2023年4月21日 至 2023年5月22日 第103期 自 2023年6月21日 至 2023年7月20日 第105期 自 2023年8月22日 至 2023年9月20日
 第102期 自 2023年5月23日 至 2023年6月20日 第104期 自 2023年7月21日 至 2023年8月21日 第106期 自 2023年9月21日 至 2023年10月20日

項目	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
(A) 配当等収益	1,412,049円	1,415,479円	1,401,085円	1,366,597円	1,363,646円	1,334,740円
受取配当金	1,412,591	1,415,880	1,401,479	1,367,273	1,364,095	1,334,973
受取利息	—	—	—	4	—	1
支払利息	△ 542	△ 401	△ 394	△ 680	△ 449	△ 234
(B) 有価証券売買損益	△ 126,270	11,584,817	19,319,747	25,520,143	14,980,143	13,971,012
売買益	69,300	11,595,274	19,361,069	25,787,516	15,094,015	14,227,122
売買損	△ 195,570	△ 10,457	△ 41,322	△ 267,373	△ 113,872	△ 256,110
(C) 信託報酬等	△ 653,945	△ 590,207	△ 631,983	△ 696,024	△ 658,788	△ 656,401
(D) 当期損益金（A+B+C）	631,834	12,410,089	20,088,849	26,190,716	15,685,001	14,649,351
(E) 前期繰越損益金	△ 1,067,366,105	△ 1,060,991,966	△ 1,045,531,895	△ 1,009,837,642	△ 976,415,300	△ 947,189,112
(F) 追加信託差損益金	△ 699,616,494	△ 699,901,552	△ 701,121,147	△ 693,241,622	△ 690,798,687	△ 685,367,001
（配当等相当額）	(106,778,106)	(104,727,309)	(103,497,565)	(100,996,367)	(99,320,514)	(97,087,513)
（売買損益相当額）	(△ 806,394,600)	(△ 804,628,861)	(△ 804,618,712)	(△ 794,237,989)	(△ 790,119,201)	(△ 782,454,514)
(G) 合計（D+E+F）	△ 1,766,350,765	△ 1,748,483,429	△ 1,726,564,193	△ 1,676,888,548	△ 1,651,528,986	△ 1,617,906,762
(H) 収益分配金	△ 2,344,876	△ 2,334,531	△ 2,328,981	△ 2,294,212	△ 2,277,861	△ 2,248,587
次期繰越損益金（G+H）	△ 1,768,695,641	△ 1,750,817,960	△ 1,728,893,174	△ 1,679,182,760	△ 1,653,806,847	△ 1,620,155,349
追加信託差損益金	△ 701,203,266	△ 700,884,878	△ 702,091,765	△ 694,204,595	△ 691,767,845	△ 686,338,086
（配当等相当額）	(105,191,334)	(103,743,983)	(102,526,947)	(100,033,394)	(98,351,356)	(96,116,428)
（売買損益相当額）	(△ 806,394,600)	(△ 804,628,861)	(△ 804,618,712)	(△ 794,237,989)	(△ 790,119,201)	(△ 782,454,514)
繰越損益金	△ 1,067,492,375	△ 1,049,933,082	△ 1,026,801,409	△ 984,978,165	△ 962,039,002	△ 933,817,263

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
(a) 経費控除後の配当等収益	758,104円	1,351,205円	1,358,363円	1,331,239円	1,308,703円	1,277,502円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	106,778,106	104,727,309	103,497,565	100,996,367	99,320,514	97,087,513
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	107,536,210	106,078,514	104,855,928	102,327,606	100,629,217	98,365,015
(f) 分配金	2,344,876	2,334,531	2,328,981	2,294,212	2,277,861	2,248,587
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	105,191,334	103,743,983	102,526,947	100,033,394	98,351,356	96,116,428
(h) 受益権総口数	2,344,876,256口	2,334,531,243口	2,328,981,960口	2,294,212,348口	2,277,861,333口	2,248,587,663口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金(税込み)	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
		10円	10円	10円	10円	10円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

アメリカンMLPファンド
（ノンヘッジクラス／円ヘッジクラス／通貨αクラス）

当ファンド（ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）米ドルコース／日本円コース／通貨αコース）はケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス／円ヘッジクラス／通貨αクラス）」の受益証券（円建）を主要投資対象としております。以下の内容は、直近で入手可能なFinancial Statements等から抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

（米ドル建て）

貸借対照表
2023年3月31日

資産	
投資資産の評価額（簿価 \$13,377,303）	\$ 16,166,930
現金および現金同等物	232,603
外国為替先渡取引による評価益	29,698
未収配当金	8,639
未収法人税等	184,977
その他資産	18,394
資産合計	16,641,241
負債	
売建てオプションの評価額（受取済プレミアム \$33,297）	9,216
外国為替先渡取引による評価損	50,951
未払：	
専門家報酬	131,003
会計および管理会社報酬	9,996
運用会社報酬	4,284
保管会社報酬	3,282
名義書換代理人報酬	1,200
為替運用会社報酬	394
未払当期所得税	941,071
負債合計	1,151,397
純資産	\$ 15,489,844
純資産の内訳：	
払込資本金	\$ 256,877,771
（受益者への分配金）	(110,279,552)
繰越損失	(131,108,375)
純資産	\$ 15,489,844
クラス別純資産：	
通貨αクラス	\$ 4,268,804
円ヘッジクラス	1,666,984
ノンヘッジクラス	9,554,056
	\$ 15,489,844
発行済み受益証券	
通貨αクラス	20,723,835
円ヘッジクラス	6,517,905
ノンヘッジクラス	24,605,886

受益証券1口当り純資産額

通貨αクラス	\$	0.206
円ヘッジクラス	\$	0.256
ノンヘッジクラス	\$	0.388

損益計算書

2023年3月31日で終了した年度

投資収益

配当収益（源泉徴収税 \$118,738 控除後）	\$	295,139
マスター・リミテッド・パートナーシップからの分配金 （元本払戻金（特別分配金））		609,161 (609,161)
受取利息		15,493
投資収益合計		310,632

費用

専門家報酬		220,419
運用会社報酬		86,706
会計および管理会社報酬		60,000
受託会社報酬		16,529
保管会社報酬		16,018
名義書換代理人報酬		7,200
登録料		6,138
為替運用会社報酬		4,750
州法人税		1,175
計算代理人報酬		572
費用合計		419,507

税引前投資損失		(108,875)
当期所得税および法人税等調整額		(246,481)
税引後投資純損失		(355,356)

実現損益および評価損益：

実現損益：

証券投資		5,592,311
外国為替取引および外国為替先渡取引		(281,762)
売建オプション		(297,998)
純実現利益		5,012,551

評価損益の純変動の内訳：

証券投資		(4,832,251)
外国為替換算および外国為替先渡取引		16,817
売建オプション		807
評価損益の純変動		(4,814,627)

純実現損益および評価損益の純変動		197,924
-------------------------	--	----------------

運用による純資産の純減	\$	(157,432)
--------------------	----	------------------

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）

投資明細表
2023年3月31日現在

株数 / 口数	証券の明細	評価額
	普通株 (52.4%)	
	カナダ (14.6%)	
	エネルギー中流事業 (14.6%)	
38,982	Enbridge, Inc.	\$ 1,487,164
23,923	Pembina Pipeline Corp.	775,105
		<hr/> 2,262,269
	カナダ合計 (簿価 \$2,238,719)	<hr/> \$ 2,262,269
	米国 (37.8%)	
	エネルギー中流事業 (9.3%)	
22,617	ONEOK, Inc.	1,437,084
		<hr/> 1,437,084
	集積・処理 (9.6%)	
20,289	Targa Resources Corp.	1,480,083
		<hr/> 1,480,083
	天然ガス パイプライン・貯蔵 (18.9%)	
9,587	Cheniere Energy, Inc.	1,510,910
47,775	Williams Cos, Inc.	1,426,562
		<hr/> 2,937,472
	米国合計 (簿価 \$3,240,182)	<hr/> \$ 5,854,639
	普通株合計 (簿価 \$5,478,901) (52.4%)	<hr/> \$ 8,116,908
	ETF (52.0%)	
	米国 (52.0%)	
208,280	Alerian MLP ETF	8,050,022
	米国合計 (簿価 \$7,898,402)	<hr/> \$ 8,050,022
	ETF 合計 (簿価 \$7,898,402) (52.0%)	<hr/> \$ 8,050,022
	投資総額 (簿価 \$13,377,303) (104.4%)	<hr/> \$ 16,166,930
	現金および他の資産を超過する負債 (-4.4%)	<hr/> \$ (677,086)
	純資産 (100.0%)	<hr/> <hr/> \$ 15,489,844

2023年3月31日現在の円ヘッジクラスの外国為替先渡契約残高 (純資産の-0.1%)

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価(損)	評価益/(損)
J P Y	Brown Brothers Harriman & Co.	244,980,121	04/10/2023	U S D	1,812,856	\$ 29,426	\$ -	\$ 29,426
J P Y	Brown Brothers Harriman & Co.	214,750,182	04/10/2023	U S D	1,636,202	-	(21,253)	(21,253)
U S D	Brown Brothers Harriman & Co.	16,938	04/10/2023	J P Y	2,287,861	-	(266)	(266)
U S D	Brown Brothers Harriman & Co.	73,647	04/10/2023	J P Y	10,000,000	-	(1,555)	(1,555)
U S D	Brown Brothers Harriman & Co.	56,130	04/10/2023	J P Y	7,505,394	-	(312)	(312)
U S D	Brown Brothers Harriman & Co.	78,757	04/10/2023	J P Y	10,436,685	272	-	272
U S D	Brown Brothers Harriman & Co.	1,587,384	04/10/2023	J P Y	214,750,182	-	(27,565)	(27,565)
						\$ 29,698	\$ (50,951)	\$ (21,253)

2023年3月31日現在の通貨αクラスの売建オプション取引残高 (純資産の-0.1%)

取引内容	取引相手	行使価格	行使期日	契約数	受取済 プレミアム	評価額
Call - OTC Japanese Yen versus US Dollar	NatWest	¥ 135.16	04/21/2023	2,100,000	\$ (33,297)	\$ (9,216)

通貨の略称:

J P Y	-	日本円
U S D	-	米ドル

ダイワ・マネー・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）米ドルコース／日本円コース／通貨 α コース）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2022年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第106期の決算日（2023年10月20日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2023年4月21日～2023年10月20日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2023年10月20日現在有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第18期 (決算日 2022年12月9日)

(作成対象期間 2021年12月10日～2022年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

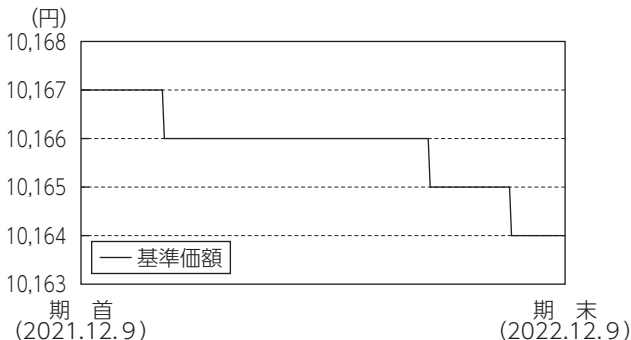
運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
	円	%	%
(期首)2021年12月9日	10,167	-	-
12月末	10,167	0.0	-
2022年1月末	10,167	0.0	-
2月末	10,166	△0.0	-
3月末	10,166	△0.0	-
4月末	10,166	△0.0	-
5月末	10,166	△0.0	-
6月末	10,166	△0.0	-
7月末	10,166	△0.0	-
8月末	10,165	△0.0	-
9月末	10,165	△0.0	-
10月末	10,164	△0.0	-
11月末	10,164	△0.0	-
(期末)2022年12月9日	10,164	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめぐって安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,167円 期末：10,164円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合 計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	14,815,299	100.0
投資信託財産総額	14,815,299	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	14,815,299,248円
コール・ローン等	14,815,299,248
(B) 負債	113,000
未払解約金	113,000
(C) 純資産総額(A-B)	14,815,186,248
元本	14,576,480,402
次期繰越損益金	238,705,846
(D) 受益権総口数	14,576,480,402口
1万口当り基準価額(C/D)	10,164円

* 期首における元本額は6,671,046,264円、当作成期間中における追加設定元本額は21,845,860,602円、同解約元本額は13,940,426,464円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ゴールド・ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	3,627,565,740円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - A1新時代- (為替ヘッジあり)	977,694円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - A1新時代- (為替ヘッジなし)	977,694円
ダイワFEGグローバル・パリュウ (為替ヘッジあり)	9,608円
ダイワFEGグローバル・パリュウ (為替ヘッジなし)	9,608円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり)	49,107円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし)	49,107円
ダイワ/“R I C I” コモディティ・ファンド	2,074,249円
スマート・ミックス・Dガード (為替ヘッジあり)	5,973,809円
スマート・アロケーション・Dガード	23,929,224円
堅実バランスファンド - ハジメの一歩-	236,205,446円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型)	180,729円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型)	737,649円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型)	95,276円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型)	337,885円
世界セレクトティブ株式オープン	983円
世界セレクトティブ株式オープン (年2回決算型)	983円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/毎月分配型)	983円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/毎月分配型)	983円
iFreeETF NASDAQ100インバース	5,509,329,948円
iFreeETF NASDAQ100レバレッジ	595,238,099円
iFreeETF NASDAQ100ダブルインバース	309,917,358円
DCダイワ・マネー・ポートフォリオ	4,031,730,013円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型)	132,757円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)	52,987円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	467,315円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)	12,784円
ダイワ/フィデリティ北米株式ファンド - パラダイムシフト	1,988,495円
ダイワFEGグローバル・パリュウ株ファンド (ダイワSMA専用)	3,666円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	155,317円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型)	38,024円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型)	4,380円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型)	22,592円
ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース)	33,689円
ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース)	96,254円
ダイワ・ダブルバランス・ファンド (Dガード付/部分為替ヘッジあり)	104,785,071円
ダイワ6資産バランス・ファンド (Dガード付/為替ヘッジあり)	112,805,921円
ダイワ・インフラビジネス・ファンド - インフラ革命- (為替ヘッジあり)	5,385円
ダイワ・インフラビジネス・ファンド - インフラ革命- (為替ヘッジなし)	11,530円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 米ドルコース	9,817円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 日本円コース	6,964円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 通貨αコース	9,479円
ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型)	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	982,368円
DCスマート・アロケーション・Dガード	8,073,994円

ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型)	1,097円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型)	2,690円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	1,350円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース	98,203円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース	98,203円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース	982,029円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	9,652円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,164円です。

■損益の状況

当期 自2021年12月10日 至2022年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 3,985,061円
受取利息	2,618
支払利息	△ 3,987,679
(B) 当期損益金(A)	△ 3,985,061
(C) 前期繰越損益金	111,255,021
(D) 解約差損益金	△230,350,932
(E) 追加信託差損益金	361,786,818
(F) 合計(B+C+D+E)	238,705,846
次期繰越損益金(F)	238,705,846

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。